



鹿肉のロティ赤ワインソース



チームひなたの仲間であり、キャラバンサライオーナーシェフ更井亮介さん。レストランは、おじいさんが使っていた梅蔵を改装したもの。

Restaurant Caravansarai (キャラバンサライ)
住所／田辺市上芳養595
電話／0739-33-9990



自分の畑は自分で守る 農人と山の番人プロジェクト



① 猟師歴25年の湯川さん(右)が、農家からの連絡を受けるとすぐに現地へ出向き、獣の状態を見極めるため、新鮮なジビエが流通されている。岡本さん(左)との息もピッタリ。② 民設・民営の解体施設のひなたの杜。

株式会社日向屋

住所／田辺市上芳養755-2
電話／080-3806-2716

ひなたの杜

住所／田辺市上芳養469-2 電話／0739-33-7870

和歌山県の鳥獣による農作物被害は約2億4900万円※1で、その約8割が果樹被害である。田辺市上芳養地域でも8年前ぐらいから被害が急増したという。「猟師が減り、山に近いところから耕作放棄地が増えてきたことが大きな原因だと思っています。果実が食べられることに加え、木も傷つけられてしまうのは農家として辛い。収穫量の回復には数年かかりますからね」と語るのは、梅とみかんの栽培農家である岡本和宜さんだ。鳥獣被害の軽減を地域全体の問題と捉え、それらを解決するために平成18年に(株)日向屋を立ち上げたのだという。

「農家の傍ら罠の掛け方などを地域の先輩に教えてもらいました。でも、自らの手で処理をすることは精神的に辛く、将来、こどもたちに継がせることも葛藤を抱いたため、せめて活用しようと思いました」。そんな時、猟師の湯川俊之さんとの出会いもあり、仲間を集め、役割を分担しつつも、地域内で一連して鳥獣対策からジビエ活用までができるように「チームひなた」を結成した。そうして今、上芳養のジビエは「山の宝」として販売され、近くのフレンチレストラン「キャラバンサライ」でも提供されている。「産地を守り、動物の命も大切に。出前授業などを通じて地域のこども達にも伝えていきます。これからも力を合わせて、地域の課題解決に取り組んでいきたいと考えています」。

(※1) 和歌山県の令和5年度の野生鳥獣による農作物被害額調査結果から抜粋

2025年「みなべ・田辺の梅システム」が世界農業遺産認定10周年を迎える

日本一の梅の生産地として有名な「みなべ・田辺地域」。そこには梅を中心とした産業が広がり、様々な文化と景観、先人の知恵と工夫でつくられた、世界に誇る農業のシステムが確立され、400年以上にわたり続けられてきた。2025年、このシステムが世界農業遺産に認定され10周年を迎える。

みなべ・田辺の梅システムとは

養分に乏しい山の斜面に梅林を配置し、周辺に薪炭林(しんたんりん)を残し、水源かん養や崩落を防止、紀州備長炭の生産と高品質な梅を生産してきた農業システムのこと。



みなべ川森林組合により植栽されたウバメガシ植栽地



若い梅農家が産地を守るため 耕作放棄地でウバメガシの森を育てる



① ウバメガシの森を育てる一般参加の企画「どんぐりリーグ」には東京や長野などから32人が駆けつけた。② どんぐりから育てたウバメガシの苗を持つ山本さん。昨年で20000粒を拾い集めた。

「南高梅」発祥の地であるみなべ町において、梅農家の現状を変えたいと、大学卒業後にUターンし、(株)うめひかりを設立したのが山本将志郎さんだ。

担い手不足という問題に危機感を募らせた山本さんは「若者ができる農業にしていかななくては」と新規就農者を受け入れ、後進の育成に当たっていた。そんな時、「隣の農家から山の変化を聞いて、他人事ではないと感じました。梅農家は、斜面地や平地に複数の畑を所有しているのが一般的ですが、作業も大変な上に収量も少なくなる斜面地にある梅畑から手放していきます。そうした耕作放棄地が増えれば、土砂崩れなどが起きやすくなります。先人たちが梅畑を開墾してくれたおかげで南高梅のブランドがで

きました。僕たちの代では南高梅のブランドを守るために使われていない畑は山にもどしていく必要があると思います」と語る。そこで山本さんは自社で耕作放棄地を購入し、ウバメガシの森を育てる活動を始める。

また、世界農業遺産のシステムにあるように、県の特産物である梅と紀州備長炭は密接な関係にあり、その備長炭の原料となるウバメガシの成長には20年以上かかる。山本さんは「梅の開散期に林業や炭焼きができる体制を整え、農家の収入安定にも繋げたい。それがこの産地の維持に繋がると思っています」と語る。働く環境があれば、若い移住者が増えるかもしれない。これらの活動は、町の産業や歴史を守り繋げていくための将来を見据えた投資だった。

株式会社うめひかり

住所／みなべ町晩稲505-1
電話／0739-74-8020

